

# 主な理由

## お客様が常に最先端のストレージ

## 体験を選ぶ理由

ビジネスは変化しています。ストレージにも変化が必要です。

お客様が常に最先端のストレージ体験を求めてデル・テクノロジーズの製品を選ぶ理由をご紹介します。**ぜひお読みください！**

### 1 | ソフトウェア主導型イノベーション

AIOps、DevOps、セキュリティ、マルチクラウドへの注目は高まりつつあり、もはやストレージ容量とパフォーマンスだけの問題ではありません。だからこそ私たちは、PowerStore、PowerMax、PowerFlex、PowerScale、PowerProtect、Unity XT、CloudIQなど、当社のストレージポートフォリオ全体において適切なソフトウェアイノベーションを積極的に提供しています。イノベーションとは、適応性の高いソフトウェアアーキテクチャ、総合的なサイバーレジリエンス、マルチクラウドエコシステムの柔軟性などです。その上、ISGエンジニアの85%以上はソフトウェアエンジニアで<sup>1</sup>、懸命に働いています。前事業年度でDellは、週末と休日を含め、毎日新製品やアップデート製品を提供しました<sup>1</sup>。お客様が、より迅速に手間をかけずに多くの作業をこなす必要があることを認識しているためです。

### 2 | 適応性の高いソフトウェアアーキテクチャ

当社のソフトウェアアーキテクチャには、インテリジェンスが組み込まれています。組み込みのAIとオートメーションにより、お客様の状況に合わせて変化に適応します。ソフトウェアを拡張できます。小規模から始めて、PowerStoreでは全体の容量を18PBeまでスケールアップでき<sup>2</sup>、PowerScaleではファイルストレージを119PBeまでスケールアップできます<sup>3</sup>。パフォーマンスの向上と容量の増加を別々に行うこともできます。PowerFlexでは、データパスの最適化によって直線的な拡張が可能です。SmartScaleを使用すると、3EBを超える論理容量にリソースを集約して、大規模なデータ保護をさらに強化できます。さらに、システムを中断させずにソフトウェアアップグレードを行うことにより、最新の機能をオンデマンドで利用できます。

### 3 | 開発者のベロシティー

開発者に必要なクラウドを提供すること。これが最も重要です。そしてオートメーションがカギとなります。当社では、DevOpsチームがクラウドの俊敏性を活かしてIT技術をオンプレミスで簡単に提供できるようにしています。統合された当社のDevOps対応プラットフォームによってプロビジョニングと運用が自動化されるため、お客様はインフラストラクチャではなくコンテナの管理に専念できます。オンプレミスからパブリッククラウドに接続する際に、一貫したユーザーエクスペリエンスが得られます。当社では、DevOps対応プラットフォームにおいて最も幅広いポートフォリオを提供しており、ポートフォリオはすべての主要なハイパースケーラーとコンテナオーケストレーションプラットフォームで徹底的に検証されています<sup>4</sup>。主流のKubernetesオーケストレーションとともに、スナップショット、レプリケーション、可観測性、認証、耐久性などのエンタープライズストレージ機能を活用することでお客様はメリットが得られます。さらに、当社のマルチクラウドデータ保護ソフトウェアを使用することで、テスト開発および本番環境から同じコンテナを簡単にバックアップしてリストアできます。

## 4 | インテリジェントなインサイト

インサイトを得るにはインテリジェンス、つまり人間とマシンが必要です。当社のAIOpsソフトウェアは非常にスマートです。テレメトリー、ML、その他の分析アルゴリズムを使用して、従来のITOpsチームとDevOpsチームがインフラストラクチャの問題を最短で10分の1の時間でプロアクティブに解決できるようにします<sup>5</sup>。Dellのインフラストラクチャポートフォリオ全体にわたるエンドツーエンドのインテリジェントなインサイトを提供します。CloudIQにより、IT部門は平均して週に1日分の勤務時間を節約できるため<sup>5</sup>、その時間をパフォーマンスチューニングや新製品の開発に充てることができます。インフラストラクチャの正常性とサイバーセキュリティを維持するためにチームが必要とする重要なインサイトを提供します。

## 5 | 総合的なサイバーレジリエンス

DellがFortune 500企業の96%にサービスを提供しているのには、十分な理由があります<sup>6</sup>。第一に、当社ではPowerMaxを使用して、世界で最も安全でミッションクリティカルなストレージを提供しています<sup>7</sup>。堅牢なゼロトラストセキュリティアーキテクチャ用に設計されており、データ侵害を受ける可能性のある各ポイントで重要性の高い情報を保護します。ランサムウェアなどのサイバー攻撃に対する最先端の保護に関しては、データの隔離を伴う運用のエアギャップや不変性のようなソフトウェアの先進機能が必要です。組織は重要なデータを保護してリカバリーするために、オンプレミスにもパブリッククラウドにも安全なウォールトを必要としています。PowerFlexソフトウェアデファインドインフラストラクチャは、最大99.5%の信頼度でデータ破損を検出できるようにPowerProtect Cyber Recoveryソリューションと連動します。

## 6 | マルチクラウドエコシステムの柔軟性

マルチクラウドが定着しつつあります。これには、オンプレミス、パブリッククラウド、クラウド隣接、またはコロケーションセンターにインテリジェントストレージが必要です。「クラウド内のあらゆるデータ」を一貫したエクスペリエンスで使用できます。当社のクラウド対応ソフトウェアは、初期設定で対応するマルチクラウドバイデフォルトではなく、設計に組み込むマルチクラウドバイデザインを提供します。その上、当社では、主要なハイパースケーラーをすべてサポートする単一ベンダーから最も広範なエンタープライズ製品ポートフォリオを提供しています<sup>1</sup>。スケールアウトファイルシステムや、Project Alpineというパブリッククラウドで実行されるアプリケーション向けの高度なデータ削減機能など、Dellの豊富なストレージおよびデータ保護サービスを利用することで、エンタープライズ規模のパフォーマンスと容量を実現できます。デル・テクノロジーズでは、10.3 EBものデータをクラウドで保護していることをご存知でしたか<sup>9</sup>。このデータ量は毎日増加しています。

## 7 | より多くのお客様からの信頼

Dellは、ストレージソフトウェア<sup>10</sup>、NAS<sup>11</sup>、非構造化ストレージ<sup>11</sup>、ハイパーコンバージドシステム<sup>12</sup>、外部エンタープライズストレージシステム<sup>11</sup>、データレプリケーションおよび保護ソフトウェア<sup>13</sup>、データ保護アプライアンスとソフトウェア<sup>14</sup>の分野でNo.1の企業です。また、ストレージの購入に関する不安を解消するDell Future-Proof Programもあります。ストレージを購入していただくと、3年間の満足度保証、最大4:1のデータ削減保証、最大55:1のデータ保護重複排除保証、安心のデータ移行、Anytime Upgradeオプション、柔軟な支払い方法などを利用できます<sup>15</sup>。さらに、世界レベルのサービスをご利用いただけます。常に最先端のストレージ体験が得られるので安心できます。

注：

1. Dellの社内分析（2022年3月）に基づきます。
2. デル・テクノロジーズの分析（2022年2月）に基づきます。
3. Dellの社内分析（2022年3月）に基づきます。1.6:1のデータ削減率と80%のPowerScaleストレージ効率を想定しています。実際の結果は、データセットによって異なる場合があります。
4. Kubernetesディストリビューションの統合システムに関するDellの分析（2022年3月）に基づきます。
5. 2021年5～6月に実施されたCloudIQユーザーに対するデル・テクノロジーズの調査に基づきます。実際の結果は異なる場合があります。
6. 『Dell Technologies Key Facts』（2022年3月更新）。
7. Dell PowerMaxのサイバーセキュリティ機能と、オープンシステムとメインフレームストレージをサポートする競合他社のメインストリームアレイのサイバーセキュリティ機能を比較したDellの社内分析（2022年3月）に基づきます。
8. Dell PowerMax向けゼロトラストアーキテクチャの7本の柱に関するDellの社内分析（2022年3月）に基づきます。
9. 平均4:1のデータ削減を想定しています。実際の結果は、データタイプによって異なる場合があります。
10. IDC『WW Quarterly Storage Software & Cloud Services QView, 2021Q2, September 9, 2021, Vendor Revenue』。

11. IDC『WW Quarterly Enterprise Storage Systems Tracker, 2021Q2, September 9, 2021, Vendor Revenue』。注：非構造化ストレージには、オブジェクトベースのストレージ（HCIを除く）とスケールアウトNAS（HCIを除く）を組み合わせたものが含まれます。
12. IDC『WW Quarterly Converged Systems Tracker, 2021Q2, September 16, 2021, Vendor Revenue』。
13. IDC『1Q21 Storage Software and Cloud Services Qview』。
14. IDC『1Q21 Purpose-Built Backup Appliance (PBBA) Tracker』と、『1Q21 Storage Software and Cloud Services Qview』の一部のストレージ ソフトウェア セグメントの合計売上高に基づきます。
15. 4:1のデータ削減とAnytime Upgradeプログラムは、PowerStoreおよびPowerMaxストレージで利用できます。



最先端のストレージ ソリューションの[詳細情報](#)



Dell Technologies エキスパートへの[お問い合わせ](#)



他の関連資料を[見る](#)



#ModernStorageで会話に参加